

たたかう天神峰東峰(用地内)からのよびかけ



動労千葉

83, 2, 22
No. 1272

国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二一八(動力車会館)
(鉄電)二九三五・六(公衆)〇四七二(22)七二〇七

農地死守こそ勝利の武器



すべての組合員のみなさん。
正念場を迎えた三里塚現地は、いま風雲急を告げています。
一月冒頭、空港公団総裁中村が「今年はいまパイプラインが完成するので、いよいよ二期工事の着工にとりかかりたい」旨の表明をしたのはじめ、金と暴力の限りをつくした反対同盟の分断と切り崩しにやつきになつてきています。
この敵の攻撃のまえに、動揺した一部の人々から「共有地を金にかえよう」という呼びかけが行われ、動労千葉の各支部へもその呼びかけ文が郵送されてきています。



二期着工にむけた分断・解体攻撃を許すな

いうまでもなく、三里塚闘争の原点は「土地を売らない。農地死守。実力闘争」の立場であるはず。
それは農地と鉄路を武器とする、労農連帯の確固不動の信念であり、十八年間の勝利の原動力であります。

私たち動労千葉は、81・3ジェットストを血を流して闘い抜き勝利してきた自信と確信の上にたち、この「農地死守。実力闘争。労農連帯」の原則に三里塚闘争勝利の唯一最強の武器をしっかりと守り抜き、最後の勝利へ向けばく進していく決意を明らかにするものです。

3・27三里塚集会の大結集で、闘う反対同盟を守り、二期実力阻止へ！

組合員のみなさん。
農地死守の原点にたつ用地内農民とともに、成



成田市議選に必勝を
同盟事務局長 北原鉦治氏
現成田市議

春のいぶきと共に三里塚は十八年目をむかえ、勝利をめざしてたたかいつづけている。政府・公団はパイプラインのフラッシング供用開始というなかで、あせりにあせって二期着工攻撃をねらっている。

反動中曾根は日本列島を不沈空母にする発言し軍拡・改憲へと

田用水反対・再共有地化運動反対・二期着工阻止の闘いを貫き、3・27三里塚現地集会へ総決起し、北原候補の必勝を勝ちとろうではありませんか。

声 明

一月二十七日の同盟実行役員においては、一坪「再共有化」運動は決定されず、一坪「再共有化」の委員の選出もおこなわれてはいない。
ところが二月十二日夜、反対同盟一坪共有化委員会を名のつて、支援連絡会議を二月十三日夜八時青行小屋で開くという支援への連絡がおこなわれた。そして反対同盟三里塚大地共有委員会をデッチあげた。

このような行為は筋の通つた批判を無視し一坪「再共有化」運動を一方向的に強行し、反対同盟に押しつけ、同盟内を分裂させ、さらに支援団を分裂させる行為である。絶対に許されない。

一坪共有権を再分割して新共有者に譲渡し、金銭を得ることは、どのような名目をつけようとも、二期一坪用地の売却である。同盟の基本原則の否定である。

われわれは、いますすめられている一坪「再共有化」運動に絶対に反対である。同盟は従来までの一坪共有地を農地死守の原則を貫ぬきとおして守り抜くものである。以上反対同盟各位ならびに全支援の皆さんに訴える。

一九八三年二月十四日

- | | | | | | | | |
|---|-----|------|------|------|------|------|------|
| 東 | 天神峰 | 小川嘉吉 | 小川耕平 | 小川喜平 | 加藤俊清 | 加藤俊清 | 市東良助 |
|---|-----|------|------|------|------|------|------|